

建設企業協議会協議事項

〔 日時 令和6年8月21日(水)
午前10時
場所 第四委員会室 〕

○ 所管事項の報告について

- 1 「はちのへ空き家解消ネットワーク」発足に関する連携協定の締結について
- 2 令和5年度八戸市下水道事業会計決算の概要について
- 3 八戸市下水道事業経営戦略（令和6年8月改定）の公表について
- 4 建物破損事故に係る損害賠償額の専決処分について
- 5 令和5年度八戸市立市民病院事業会計決算の概要について
- 6 八戸市立市民病院経営強化プランの達成状況について
- 7 八戸市立市民病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部改正（案）の概要について
- 8 令和5年度八戸市自動車運送事業会計決算の概要について
- 9 市営バス定期券販売窓口におけるキャッシュレス決済の導入について
- 10 バス停名称の変更について

「はちのへ空き家解消ネットワーク」発足に関する連携協定の締結について

1. 協定名

八戸市の空き家等対策に関する連携協定

2. 協定締結日

令和6年8月7日（水）

3. 締結団体

不動産、法務、建築、金融、空き家管理の5つの分野で構成する12の専門団体に市を加えた13団体

（締結団体一覧）

	分野		団体・企業名
1	不動産	賃貸・売買	(公社) 青森県宅地建物取引業協会
			(公社) 全日本不動産協会青森県本部
		調査等	青森県土地家屋調査士会
			(公社) 青森県不動産鑑定士協会
2	法務	青森県司法書士会	
		青森県弁護士会	
		青森県行政書士会	
3	建築	(一社) 青森県建築士会	
4	空き家管理	(公社) 八戸市シルバー人材センター	
5	金融	(株) 青森銀行	
		(株) みちのく銀行	
		青い森信用金庫	
6	行政	八戸市	

4. 締結趣旨及び実施内容

市内で増加する空き家等を円滑に解消するため、空き家に関する専門団体等と協定を締結し、新たに「はちのへ空き家解消ネットワーク」を立ち上げて官民連携による総合的な空き家対策を推進する。

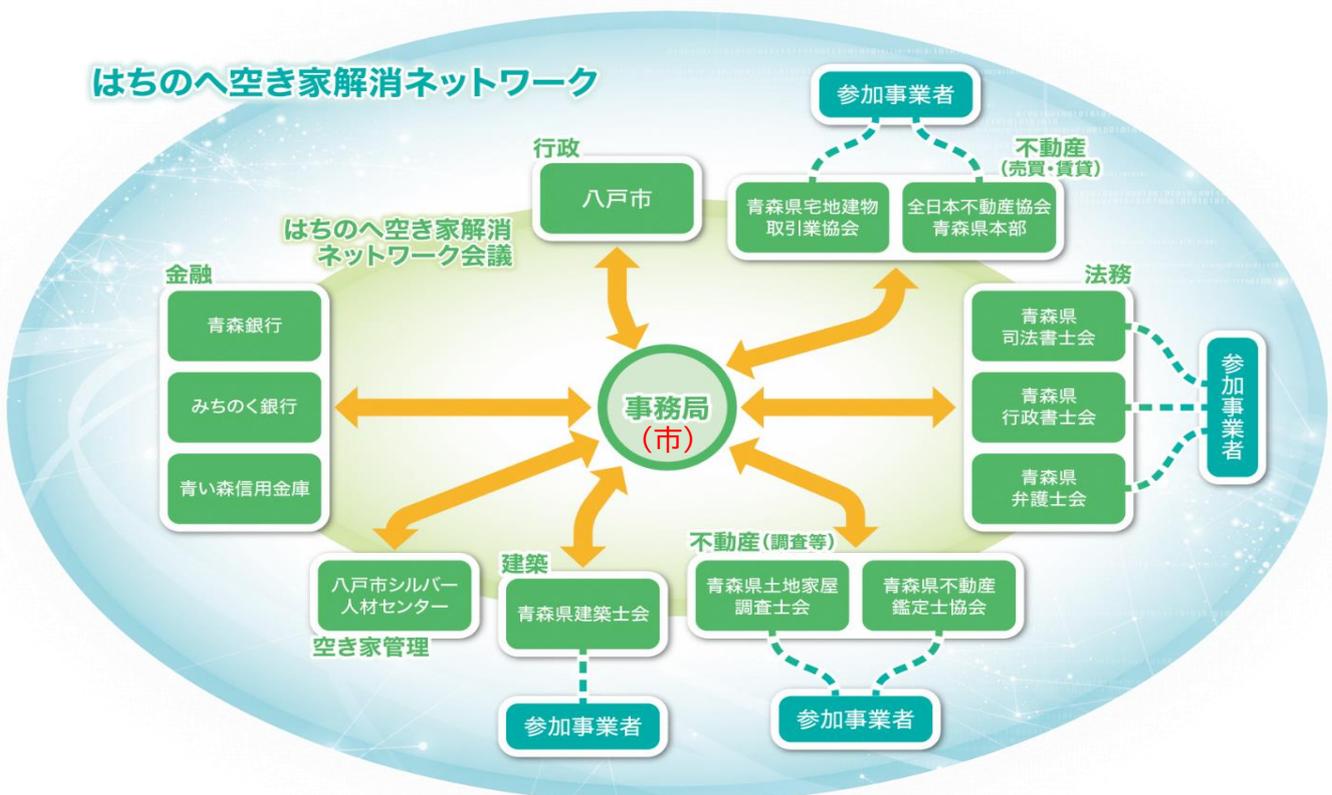
本ネットワークにおいては、市から空き家所有者に対して積極的に空き家の利活用を働きかけ、寄せられた課題等に対して各団体等の専門性に基づく多角的な視点からワンストップで解決策を検討し、所有者の意向に沿った具体的な利活用の提案を行う。

はちのへ空き家解消ネットワーク

協定締結式の様子（令和6年8月7日）



はちのへ空き家解消ネットワーク組織図



令和5年度 八戸市下水道事業会計決算の概要について

1. 整備状況及び普及率

○整備状況（公共のみ）

区分	令和5年度整備	令和5年度末
処理区域面積	83 ha	3,917 ha
管きよ延長	12.9 km	950.6 km

【令和5年度 管きよ整備区域】

白銀、新井田、中居林、高館、駅西ほか

○普及率 71.0%（前年度比 1.3ポイント増 ※農業集落排水事業含む）

2. 収入状況

事業収益 69億7,006万円

（主な内訳）・下水道使用料 24億8,157万円 ・他会計負担金 12億4,443万円
・他会計補助金 7億9,463万円 ・長期前受金戻入 22億9,997万円

3. 支出状況

事業費 67億7,608万円

（主な内訳）・管きよ費 2億1,493万円 ・ポンプ場費 2億2,966万円
・処理場費 6億9,292万円 ・流域下水道維持管理負担金 3億6,225万円
・減価償却費 46億9,513万円

4. 収支 純損益

純利益 1億9,399万円

消費税抜き（単位：千円、%）

	令和5年度 決算見込額(A)	令和4年度 決算額(B)	対前年度比較	
			増減額(A)-(B)	増減率
事業収益	6,970,064	6,879,778	90,286	1.3%
①営業収益	3,730,269	3,656,333	73,936	2.0%
うち 下水道使用料	2,481,566	2,454,903	26,663	1.1%
うち 他会計負担金	1,244,425	1,196,544	47,881	4.0%
②営業外収益	3,227,225	3,211,149	16,076	0.5%
うち 他会計補助金	794,634	785,913	8,721	1.1%
うち 長期前受金戻入	2,299,966	2,262,711	37,255	1.6%
③特別利益	12,570	12,296	274	2.2%
事業費	6,776,075	6,693,298	82,777	1.2%
④営業費用	6,389,573	6,268,605	120,968	1.9%
うち 管きよ費	214,932	232,217	△ 17,285	△7.4%
うち ポンプ場費	229,659	176,714	52,945	30.0%
うち 処理場費	692,922	721,439	△ 28,517	△4.0%
うち 流域下水道維持管理負担金	362,248	337,510	24,738	7.3%
うち 減価償却費	4,695,133	4,586,475	108,658	2.4%
⑤営業外費用	386,502	424,693	△ 38,191	△9.0%
営業損益（①-④）	△ 2,659,304	△ 2,612,272	△ 47,032	1.8%
経常損益（①+②-④-⑤）	181,419	174,184	7,235	4.2%
純損益（事業収益-事業費）	193,989	186,480	7,509	4.0%
未処分利益剰余金	765,539	571,550	193,989	33.9%

八戸市下水道事業経営戦略（令和6年8月改定）の公表について

1. 改定の背景

「経営戦略」は、地方公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくために策定する中長期的な経営の基本計画であり、本市では、平成29年3月に農業集落排水事業の経営戦略を、平成31年1月に公共下水道事業の経営戦略を策定し、経営の健全化に取り組んできた。

前回の戦略策定から概ね5年が経過し、見直しを行う時期を迎えていたことに加え、事業を取り巻く環境の変化を踏まえた見直しを行う必要があったことから、今回の改定を実施したものである。

2. これまでの経緯 及び パブリックコメントの実施結果

- ・改定案の策定
- ↓
- ・建設企業協議会（改定案の説明）
- ↓
- ・パブリックコメントの実施（R6.5.27～6.25の30日間）

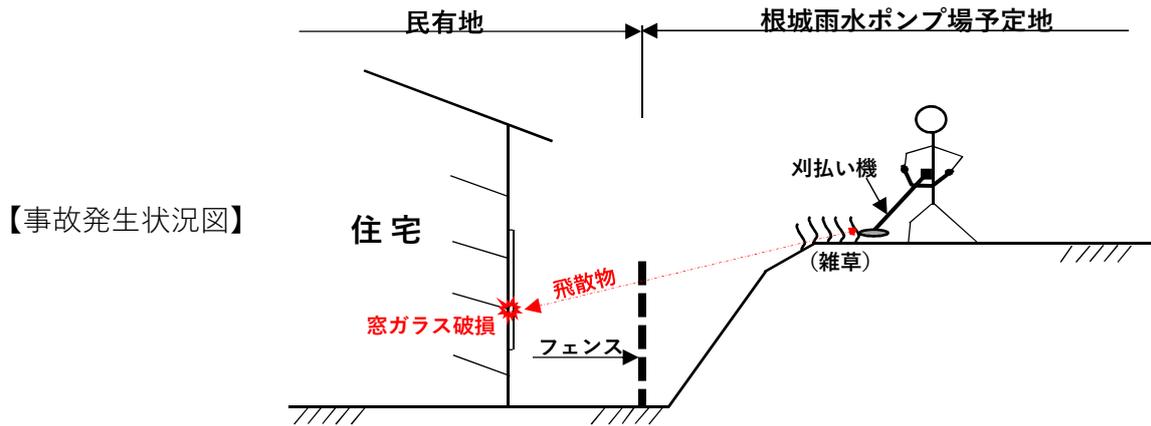
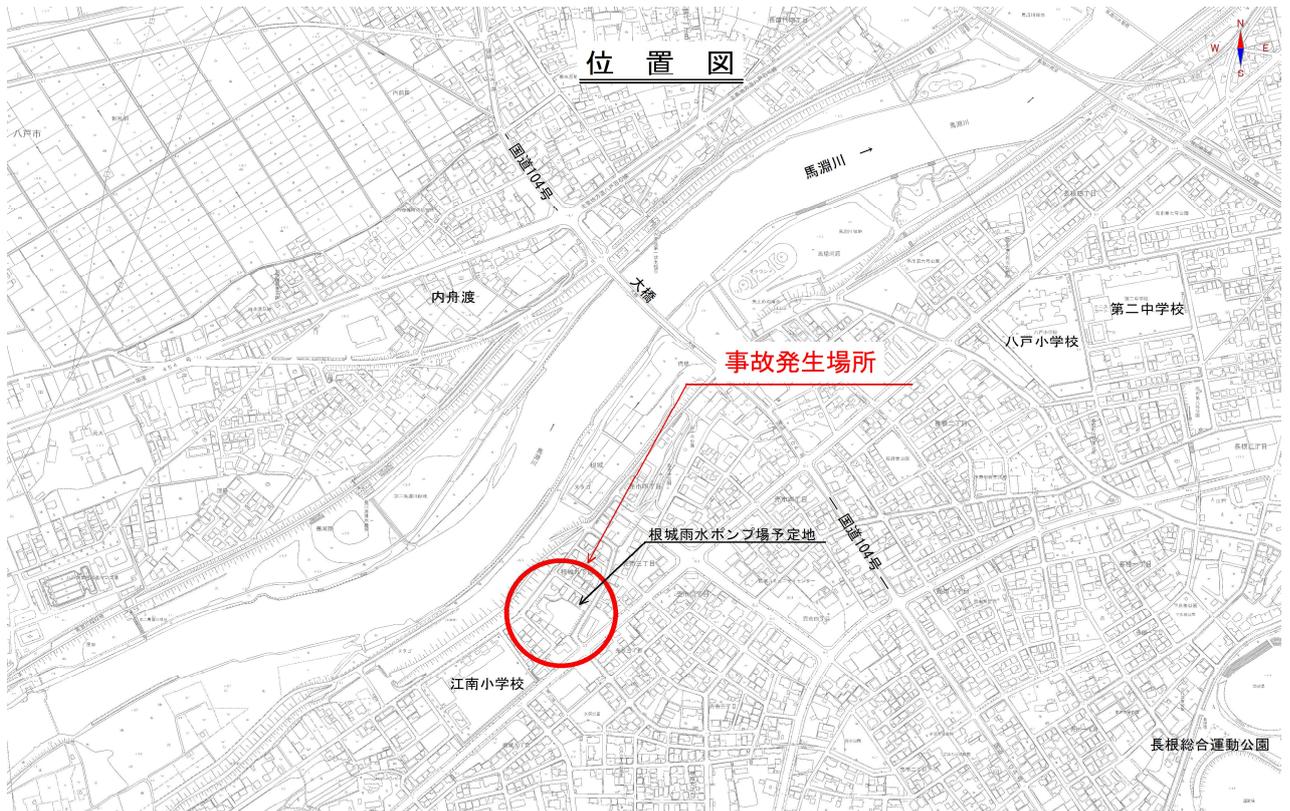
実施結果 … 提出意見なし

3. 経営戦略の公表

令和6年8月21日に市ホームページで公表

建物破損事故に係る損害賠償額の専決処分について

- 1 事故発生日時 令和6年6月19日（水）午前10時頃
- 2 事故発生場所 八戸市根城九丁目地内
- 3 事故発生状況 下水道事務所が管理する根城雨水ポンプ場予定地の除草作業において、刈払い機からの飛散物が隣地の住宅に衝突し、窓ガラスを破損させたものである。
- 4 損害賠償額 330,550円
(全国市長会市民総合賠償補償保険より同額給付)
- 5 専決処分月日 令和6年7月26日（処分第19号）



令和5年度八戸市立市民病院事業会計決算の概要について

1. 患者数の状況及び病床利用率

- 延べ患者数の状況

入院	189,171人 (前年度比 +941人)
外来	265,539人 (前年度比 △15人)
- 病床利用率 (一般病床)

87.9% (前年度比 +0.6ポイント)

2. 収入状況

事業収益 241億6,688万円

(主な内訳) ・入院収益 152億1,570万円 ・外来収益 55億6,374万円

3. 支出状況

事業費 239億9,270万円

(主な内訳) ・給与費 108億6,503万円 ・材料費 66億6,877万円
・経費 36億8,103万円

4. 収支

純利益 1億7,418万円

(単位：千円、%)

	令和5年度 決算見込額(A)	令和4年度 決算額(B)	対前年度比較	
			増減額(A)-(B)	増減率
事業収益	24,166,881	24,399,734	△ 232,853	△ 1.0
①医業収益	21,812,987	21,095,081	717,906	3.4
うち入院収益	15,215,703	14,624,224	591,479	4.0
うち外来収益	5,563,736	5,348,691	215,045	4.0
②医業外収益	2,259,948	3,215,646	△ 955,698	△ 29.7
うち補助金	454,052	1,585,142	△ 1,131,090	△ 71.4
③特別利益	93,946	89,007	4,939	5.5
事業費	23,992,705	23,151,255	841,450	3.6
④医業費用	22,770,306	21,840,421	929,885	4.3
うち給与費	10,865,025	10,728,857	136,168	1.3
うち材料費	6,668,772	6,240,878	427,894	6.9
うち経費	3,681,026	3,604,422	76,604	2.1
⑤医業外費用	1,222,399	1,310,834	△ 88,435	△ 6.7
医業損益 (①-④)	△ 957,319	△ 745,340	△ 211,979	△ 28.4
経常損益 (①+②-④-⑤)	80,230	1,159,472	△ 1,079,242	△ 93.1
純損益 (事業収益-事業費)	174,176	1,248,479	△ 1,074,303	△ 86.0
未処分利益剰余金	2,599,867	2,425,691	174,176	7.2

八戸市立市民病院経営強化プランの達成状況について

- 市民病院では、総務省の「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和6年3月に【八戸市立市民病院経営強化プラン】を策定しました。
- プランの対象期間は令和5年度から9年度までの5年間です。
- 令和5年度における「経営の指標に係る主な数値目標」の達成状況は下表のとおりです。
- 全12項目のうち、目標を達成した項目は「給与費対修正医業収益比率」など3項目、概ね達成した項目は「経常収支比率」など9項目となりました。

経営の指標に係る主な数値目標	R5年度実績値	目標値	達成状況の評価
1 経常収支比率 (%)	100.3	101.2	○
2 医業収支比率 (%)	95.8	96.2	○
3 修正医業収支比率 (%)	94.0	94.6	○
4 給与費 対修正医業収益比率 (%)	50.8	52.0	◎
5 材料費 対修正医業収益比率 (%)	31.2	30.0	○
6 経費 対修正医業収益比率 (%)	17.2	17.0	○
7 1日平均入院患者数 (人/日)	517	540	○
8 1日平均外来患者数 (人/日)	1,093	1,050	◎
9 入院診療単価 (円)	80,434	76,000	◎
10 外来診療単価 (円)	20,953	21,000	○
11 一般病床利用率 (%)	87.9	90.0	○
12 平均在院日数 (日)	13.3	12.5	○

※ 達成状況の評価基準について

- ◎ 目標を達成したもの (目標値の100%以上)
- 概ね達成したもの (目標値の90%～99%)
- △ 未達成で目標を下回っているもの (目標値の90%未満)

八戸市立市民病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の 一部改正(案)の概要について

1 改正の理由

精神病床の減床をするためのものである。

2 改正の内容

病床名	病床数(改正前)	病床数(改正後)
一般病床	572床	572床
精神病床	<u>50床</u>	<u>30床</u>
感染症病床	6床	6床
計	<u>628床</u>	<u>608床</u>

3 施行期日

令和6年10月1日

令和5年度 八戸市自動車運送事業会計 決算の概要について

- 輸送実績について、営業走行距離は334万9千kmで、前年度に比べ2千km、0.04%の減となり、輸送人員は514万6千人で、前年度に比べ8千人、0.2%の減となりました。
- 収入の状況について、事業収益は15億9,677万円で、前年度に比べ3,864万円、2.5%の増となりました。うち、運送収益は前年度に比べ2,934万円、3.2%の減となり、営業外収益は運送収益の減少や燃料価格の高騰に対応した補助金等により、前年度に比べ6,857万円、11.0%の増となりました。
- 支出の状況について、事業費は17億5,007万円で、前年度に比べ4,152万円、2.4%の増となりました。うち、人件費は会計年度任用職員への勤勉手当支給に備えた引当金の計上等により、前年度に比べ3,047万円、2.9%の増となり、物件費は物価高騰の影響等により、前年度に比べ3,307万円、9.5%の増となりました。
- この結果、令和5年度は1億5,330万円の純損失を計上し、未処理欠損金は8億1,699万円となりました。

消費税抜き (単位：千円)

	令和5年度 決算見込額(A)	令和4年度 決算額(B)	対前年度比較	
			増減額(A)-(B)	増減率
事業収益	1,596,770	1,558,129	38,641	2.5%
①営業収益	905,083	935,014	△ 29,931	△ 3.2%
うち運送収益	886,990	916,327	△ 29,337	△ 3.2%
うち運送雑収益	18,093	18,687	△ 594	△ 3.2%
②営業外収益	691,687	623,115	68,572	11.0%
うち一般会計補助金	398,369	376,000	22,369	5.9%
うち補助金	197,615	142,138	55,477	39.0%
うち長期前受金戻入	81,504	94,251	△ 12,747	△ 13.5%
事業費	1,750,075	1,708,551	41,524	2.4%
③営業費用	1,729,659	1,688,015	41,644	2.5%
うち人件費	1,063,825	1,033,351	30,474	2.9%
うち物件費	382,188	349,121	33,067	9.5%
うち減価償却費	265,029	283,901	△ 18,872	△ 6.6%
④営業外費用	20,416	20,536	△ 120	△ 0.6%
営業損益(①-③)	△ 824,576	△ 753,001	△ 71,575	9.5%
経常損益(①+②-③-④)	△ 153,305	△ 150,422	△ 2,883	1.9%
純損益(事業収益-事業費)	△ 153,305	△ 150,422	△ 2,883	1.9%
未処理欠損金	△ 816,987	△ 663,682	△ 153,305	23.1%

「決算状況の推移」

八戸市自動車運送事業
 (%) は、対前年度比
 消費税抜き(単位：千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1 事業収益	(100.3%) 1,546,943	(96.9%) 1,499,291	(96.3%) 1,444,448	(101.9%) 1,471,841	(105.9%) 1,558,129	(102.5%) 1,596,770
2 事業費	(104.3%) 1,560,008	(103.6%) 1,616,541	(104.1%) 1,682,176	(106.0%) 1,783,452	(95.8%) 1,708,551	(102.4%) 1,750,075
3 純損益	△ 13,065	△ 117,250	△ 237,728	△ 311,611	△ 150,422	△ 153,305
4 累積損益	153,328	36,078	△ 201,650	△ 513,261	△ 663,682	△ 816,987
5 一般会計補助金	(107.0%) 363,755	(93.5%) 340,000	(110.6%) 376,000	(106.4%) 399,883	(94.0%) 376,000	(105.9%) 398,369
6 補助金	(99.2%) 1,970	(91.9%) 1,811	(1135.2%) 20,558	(193.1%) 39,688	(358.1%) 142,138	(139.0%) 197,615
7 営業収益	(98.6%) 1,092,494	(97.3%) 1,062,555	(89.7%) 953,350	(98.9%) 942,532	(99.2%) 935,014	(96.8%) 905,083
8 資金の不足額	0	0	0	0	0	0
9 ※ 資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業（自動車運送事業）の事業規模である営業収益の規模と比較して指標化し、経営状況の健全度を示すもので、数値が低いほど健全とされる。

$$\text{資金不足比率 (\%)} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{営業収益}} \times 100$$

市営バス定期券販売窓口における キャッシュレス決済の導入について

1. 概要

市営バスの通勤定期及び通学定期を購入しやすくするため、市内4箇所の定期券販売窓口においてキャッシュレス決済を導入するもの。

2. 利用開始日

令和6年10月1日(火)

3. キャッシュレス決済を導入する販売窓口

- ・旭ヶ丘営業所
- ・ラピアインフォメーション
- ・はちのへ観光案内所
- ・八戸ポータルミュージアム「はっち」インフォメーション

4. 利用可能なキャッシュレス決済の種類

キャッシュレス種類	ブランド名
クレジットカード決済	Visa、Mastercard、JCB、AMEX、Diners、Discover
電子マネー決済※1	交通系 IC※2、WAON、nanaco、iD、楽天Edy、QUICPay
コード決済※1	PayPay、d払い、auPAY、ゆうちょPay、メルペイ、楽天Pay

※1 順次利用開始予定

※2 Suica、PASMO、Kitaca、TOICA、manaca、ICOCA、SUGOCA、nimoca、はやかけん
(「ハチカ」は、「Suica」として利用可能。)

5. 市民への周知

広報はちのへ10月号(9/20発行)、及び交通部ホームページ等に掲載

バス停名称の変更について

1. 概要

イトーヨーカドー八戸沼館店が令和6年8月31日で閉店することに伴い、バス停名称の変更をするもの。

2. 変更するバス停名称

変更前	変更後
ピアドゥイトーヨーカドー前	ピアドゥ東側広場前

3. 名称変更日

令和6年10月1日(火)

4. 市民への周知

広報はちのへ10月号(9/20発行)、及び交通部ホームページ等に掲載